【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-529104(P2004-529104A)
【公表日】平成16年9月24日(2004.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2004-037
【出願番号】特願2002-567063(P2002-567063)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｋ　45/06
　Ａ６１Ｋ　31/07
　Ａ６１Ｋ　31/138
　Ａ６１Ｋ　31/203
　Ａ６１Ｋ　31/282
　Ａ６１Ｋ　31/706
　Ａ６１Ｋ　33/24
　Ａ６１Ｋ　39/395
　Ａ６１Ｐ　35/00
　Ａ６１Ｐ　43/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｋ　45/06
　Ａ６１Ｋ　31/07
　Ａ６１Ｋ　31/138
　Ａ６１Ｋ　31/203
　Ａ６１Ｋ　31/282
　Ａ６１Ｋ　31/706
　Ａ６１Ｋ　33/24
　Ａ６１Ｋ　39/395　　Ｔ
　Ａ６１Ｐ　35/00
　Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
　Ａ６１Ｐ　43/00　　１２１

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月24日(2005.3.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　DNAメチル化インヒビター、及び
　in vivoの抗腫瘍薬としての活性が異常なDNAメチル化により悪影響される抗腫瘍薬
を含むことを特徴とする医薬組成物。
【請求項２】
DNAメチル化インヒビターがシチジン類似体である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項３】
シチジン類似体がデシタビンである請求項２記載の医薬組成物。
【請求項４】
抗腫瘍薬がアルキル化剤、抗生物質薬、レチノイド、抗代謝薬、ホルモン薬、植物由来薬

、抗血管形成薬及び生物学的薬剤からなる群から選ばれる請求項１記載の医薬組成物。
【請求項５】
抗腫瘍薬がビスクロロエチルアミン、アジリジン、アルキルアルコンスルホネート、ニトロソ尿素、非古典的アルキル化剤及び白金化合物からなる群から選ばれたアルキル化剤である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項６】
DNAメチル化インヒビターがデシタビンであり、かつ抗腫瘍薬がシスプラチン又はカルボプラチンである請求項１記載の医薬組成物。
【請求項７】
抗腫瘍薬がドキソルビシン、ダウノルビシン、エピルビシン、イダルビシン及びアントラセンジオン、マイトマイシンＣ、ブレオマイシン、ダクチノマイシン、並びにプリカトマイシンからなる群から選ばれた抗生物質薬である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項８】
抗腫瘍薬がフルオロウラシル、フロキシウリジン、メトトレキセート、ロイコボリン、ヒドロキシ尿素、チオグアニン、メルカプトプリン、シタラビン、ペントスタチン、フルダラビンホスフェート、クラドリビン、アスパラギナーゼ、及びゲムシタビンからなる群から選ばれた抗代謝薬である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項９】
抗腫瘍薬がジエチルスチベストロール、タモキシフェン、トレミフェン、フルオキシメステロール、ラロキシフェン、ビカルタミド、ニルタミド、フルタミド、アミノグルテチミド、テトラゾール、ケトコナゾール、ゴセレリンアセテート、ロイプロリド、メゲストロールアセテート及びミフェプロストンからなる群から選ばれたホルモン薬である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項１０】
DNAメチル化インヒビターがデシタビンであり、かつ抗腫瘍薬がタモキシフェンである請求項１記載の医薬組成物。
【請求項１１】
抗腫瘍薬がビンクリスチン、ビンブラスチン、ビンデシン、ビンゾリジン、ビノレルビン、エトポシドテニポシド、パクリタキセル及びドセタキセルから選ばれた植物由来薬である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項１２】
DNAメチル化インヒビターがデシタビンであり、かつ抗腫瘍薬が全トランス-レチノール、全トランス-レチノイン酸、13-シス-レチノイン酸、及び9-シス-レチノイン酸からなる群から選ばれたレチノイドである請求項１記載の医薬組成物。
【請求項１３】
抗腫瘍薬が免疫調節タンパク質、モノクローナル抗体、腫瘍サプレッサー遺伝子、及び癌ワクチンからなる群から選ばれた生物学的薬剤である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項１４】
免疫調節タンパク質がインターロイキン２、インターロイキン４、インターロイキン12、インターフェロンα、インターフェロンβ、インターフェロンγ、エリトロポイエチン、顆粒球-CSF、顆粒球、マクロファージ-CSF、バチルスカルメット-ゲラン、レバミソール、及びオクトレオチドからなる群から選ばれる請求項１３記載の医薬組成物。
【請求項１５】
モノクローナル抗体がヘルセプチン、リツキサン、ミエロターグ、及びカンパスからなる群から選ばれる請求項１３記載の医薬組成物。
【請求項１６】
腫瘍サプレッサー遺伝子がDPC-4、NF-1、NF-2、RB、p53、WT1、BRCA、及びBRCA2からなる群から選ばれる請求項１３記載の医薬組成物。
【請求項１７】
癌ワクチンがガングリオシド、前立腺特異性抗原、α-フェトプロテイン、癌胎児抗原、

メラノーマ関連抗原MART-1、gp100、パピローマウイルスE6フラグメント、パピローマウイルスE7フラグメント、自己腫瘍細胞の全細胞又は部分／溶解産物、及び同種異系腫瘍細胞からなる群から選ばれる請求項１３記載の医薬組成物。
【請求項１８】
前記組成物が異常な細胞増殖又は異常な血管形成と関連する疾患の治療に有益である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項１９】
抗腫瘍薬が$^{131}$Iである請求項１記載の医薬組成物。
【請求項２０】
DNAメチル化インヒビター及び異常なDNAメチル化によりin vivoの抗腫瘍薬としての活性が悪影響される抗腫瘍薬を含む、異常な細胞増殖と関連する疾患を治療するためのキットであって、前記治療が前記疾患を有する患者に、治療有効量の前記DNAメチル化インヒビターを治療有効量の前記抗腫瘍薬と組み合わせて投与することを含む、上記キット。
【請求項２１】
異常な細胞増殖と関連する疾患が再狭窄、良性腫瘍、癌、血液学的障害及びアテローム硬化症から選ばれる請求項２０記載のキット。
【請求項２２】
良性腫瘍が血管腫、肝細胞アデノーマ、海綿状血管腫、巣状小結節過形成、聴神経腫、神経繊維腫、胆管アデノーマ、胆管のう腺腫、繊維腫、脂肪腫、平滑筋腫、中皮腫、奇形腫、粘液腫、再生小結節過形成、トラコーマ及び化膿性肉芽腫からなる群から選ばれる請求項２１記載のキット。
【請求項２３】
癌が乳癌、皮膚癌、骨癌、前立腺癌、肝臓癌、肺癌、脳癌、喉頭、胆嚢、膵臓、直腸、副甲状腺、甲状腺、副腎、神経組織、頭部及び首、結腸、胃、気管支、腎臓の癌、基底細胞癌、潰瘍型及び乳頭型の両方の扁平上皮癌、転移性皮膚癌、骨肉腫、ユーイング肉腫、ベチクラム細胞肉腫、ミエローマ、巨細胞腫瘍、小細胞肺腫瘍、胆石、膵島細胞腫瘍、原発性脳腫瘍、急性及び慢性のリンパ球及び顆粒細胞の腫瘍、有毛細胞腫瘍、アデノーマ、過形成、髄様癌、褐色細胞腫、粘膜神経腫、腸神経節神経腫、増殖性角膜神経腫瘍、マルファノイド・ハビタス腫瘍、ビルムス腫瘍、精上皮腫、卵巣腫瘍、平滑筋腫、子宮頸部形成異常及びin situ癌腫、神経芽細胞腫、網膜芽細胞腫、軟組織肉腫、悪性カルチノイド、局所皮膚病変、菌状息肉腫、横紋筋肉腫、カポージ肉腫、骨原性肉腫及びその他の肉腫、悪性過カルシウム血、腎細胞腫瘍、一次性赤血球増加、腺癌、多形性膠芽腫、悪性メラノーマ、及び類表皮癌からなる群から選ばれる請求項２１記載のキット。
【請求項２４】
血液学的障害が急性骨髄性白血病、急性前骨髄性白血病、急性リンパ芽球性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ芽球性白血病、ホジキン病、非ホジキンリンパ腫、骨髄形成異常症候群、及び鎌状細胞貧血から選ばれる請求項２１記載のキット。
【請求項２５】
疾患が非小細胞肺癌であり、かつDNAメチル化インヒビターがデシタビンである請求項２０記載のキット。
【請求項２６】
DNAメチル化インヒビターがデシタビンであり、かつ抗腫瘍薬がレチノイドである請求項２０記載のキット。
【請求項２７】
DNAメチル化インヒビターがデシタビンであり、かつ抗腫瘍薬がホルモン薬である請求項２０記載のキット。
【請求項２８】
DNAメチル化インヒビターがデシタビンであり、かつ抗腫瘍薬がシスプラチン又はカルボプラチンである請求項２０記載のキット。
【請求項２９】

治療が、DNAメチル化インヒビターを皮下投与又は静脈内投与することを含む、請求項２０記載のキット。
【請求項３０】
DNAメチル化インヒビターがデシタビンであり、治療がデシタビンを静脈内投与又は皮下投与することを含む、請求項２０記載のキット。
【請求項３１】
治療が、デシタビンを１～100mg/m$^2$の範囲の用量で毎日患者に静脈内投与することを含む、請求項３０記載のキット。
【請求項３２】
治療が、デシタビンを２～50mg/m$^2$の範囲の用量で毎日患者に静脈内投与することを含む、請求項３０記載のキット。
【請求項３３】
治療が、デシタビンを５～20mg/m$^2$の範囲の用量で毎日患者に静脈内投与することを含む、請求項３０記載のキット。
【請求項３４】
治療が、デシタビンを１～100mg/m$^2$の範囲の用量で治療サイクル当り少なくとも３日にわたって毎日患者に静脈内投与することを含む、請求項３０記載のキット。
【請求項３５】
治療が、DNAメチル化インヒビターを抗腫瘍薬の投与の前に投与することを含む、請求項２０記載のキット。
【請求項３６】
デシタビン及びin vivoの抗腫瘍薬としての活性が異常なDNAメチル化により悪影響される抗腫瘍薬を含む容器を含むことを特徴とする異常な細胞増殖と関連する疾患の治療用キット。
【請求項３７】
抗腫瘍薬がレチノイドである請求項３６記載のキット。
【請求項３８】
抗腫瘍薬がシスプラチン又はカルボプラチンである請求項３６記載のキット。
【請求項３９】
抗腫瘍薬がホルモン薬である請求項３６記載のキット。
【請求項４０】
ホルモン薬がジエチルスチベストロール、タモキシフェン、トレミフェン、フルオキシメステロール、ラロキシフェン、ビカルタミド、ニルタミド、フルタミド、アミノグルテチミド、テトラゾール、ケトコナゾール、ゴセレリンアセテート、ロイプロリド、メゲストロールアセテート及びミフェプロストンからなる群から選ばれる請求項３９記載のキット。
【請求項４１】
抗腫瘍薬がヘルセプチン、リツキサン、ミエローグ、及びカンパスからなる群から選ばれたモノクローナル抗体である請求項３９記載のキット。